

R5年度3月 たんぽぽ組ドキュメンテーション『積む遊びを楽しむ』

Aちゃんは、積んであるカップのおもちゃを崩して遊ぶことが多かった。



ある日、保育士がカップを2つ積んだ上を指し「ここに（カップを）乗せてみて」と言葉・身振りで伝えると、Aちゃんは理解したようで、カップを上に乗せた。



保育士が「上手だね」と褒めて、新しいカップを渡すと、もう1つ上に積んでいた。

<考察>

0歳児は、物をなめたり触ったり崩したりと、常に五感を働かせながら遊び、外の世界を知ってゆく。Aちゃんも、日頃のあらゆる経験や保育士とのやりとりを通して、崩す遊びから積む遊びが楽しくなり、繰り返し遊んだと考えられる。

0歳児のなめる、崩すなどの遊び方は、一見大人にとっては意味のない行動だが、そこからたくさんの経験を得て遊びが広がっていくため、大人が子どもの遊び方を見守りながら、反応を返し続けていくことが大切である。